

ヒートシンク ワンストップ生産開始

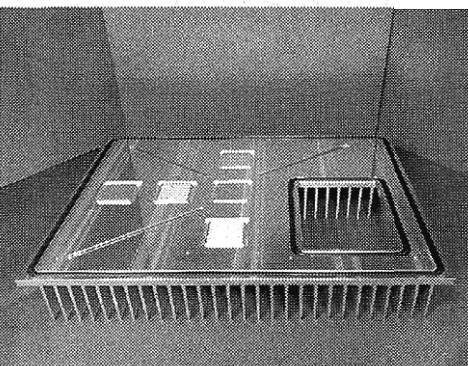
丸三電機、コスト削減を訴求

塗装などだけでなく、絶縁シートの張り付けやヒートパイプの接着、エアリーク試験などを一気通貫で行うことで顧客のコスト削減につなげられる点などを訴求する。営業や技術開発の体制を強化し、2012年5月期に全社売上高の約20%にあたる2億〜3億円の売り上げを目指す。

丸三電機（東京都千代田区、竹村元秀社長、03・3253・0411）はヒートシンク（放射器）のワンストップ生産を始める。切削加工や

ヒートシンクにかかわる部品調達や形状提案、組み立てまでを同社が一貫して手がけることで、顧客の管理工数や組立工数を削減し、コスト削減につなげる。同社は関連の加工を昨年スタートした。現在は同社の工場内で加工をしているが、協力工場との提携も模索する。

ワンストップ生産のサンプル品



今年初めに営業担当を2人増の9人にした。熱解析シミュレーションや実測試験を手がける部署だった技術係を6月に開発技術課に昇格させており、独自技術の開発に向け

た情報収集を目指す。同社はこれまで産業機器向けを中心にヒートシンクの切削加工、塗装な

ど加工を手がけており、国内シェアは約20%。12年5月期の売上高は14億円を見込む。